

【企業概要】

企業名 土志田建設株式会社

業務内容 総合建設業

売上げ 44億7千万円

従業員数 45名

年間完工高 44億5千万円

全従業員数に対する割合 直接雇用なし

＜総論＞

1. 30年前1990年代の転換期に「持続不可能」な政策にしてしまった。失策である。

更に2007年の政策大綱では建設投資は減らすのだから、農業へ行け、林業へ行け、他産業へ行けと旗を振った結果が今である。

2. 一にも二にも予算の確保。

公共事業が増せば民間投資も増えるというデータがある。

3. 建設技能者を見下している風潮を改めなければダメ！

マイスター制度などを取入れ稼げる業界にしなければ、見向きもされない。

＜価格変動への対応＞

・民に対し官が契約についてまで口出し(関与)することが道理に合うのか。

・官については100%価格変動に対応している姿勢であるべきである。

＜重層下請構造＞

・この構造のため世間的に見下されても、賃金が低くとも受け入れなければ生活が成り立たないのが現実である。

・国税庁が始めるインボイス制度などは職人はじめ中小企業いじめの最たるものである。

国は、どこまで税金を搾り取るつもりなのか？

＜処遇改善＞

・発注者万能主義の建前を直すべき。

・単価アップも必要だが一般管理費のアップ(68%→90%以上へ)

・ソーシャルワーカーとして地位の向上しかない。